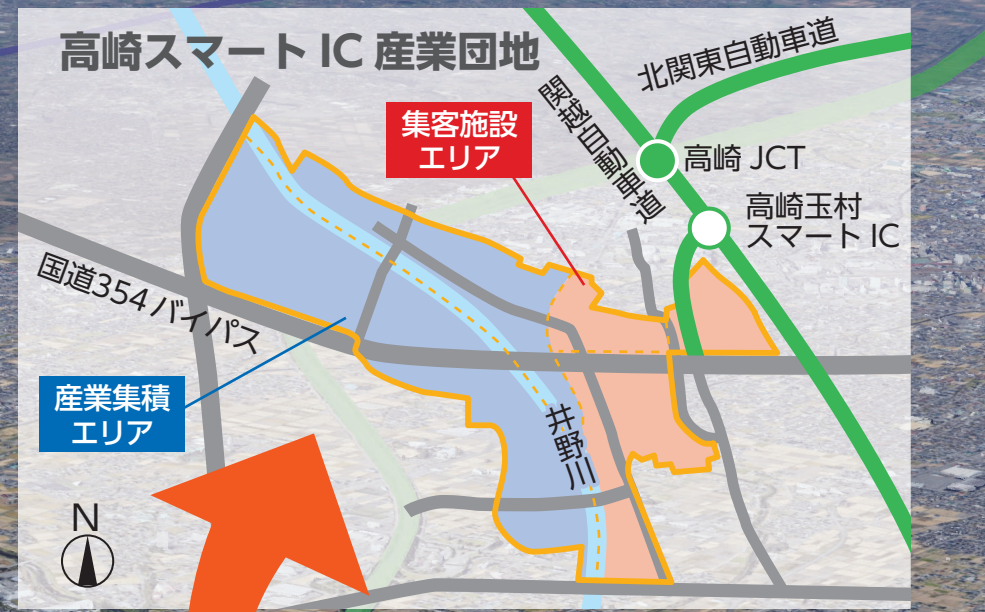


産業・観光の新たな拠点となる、高崎の玄関口

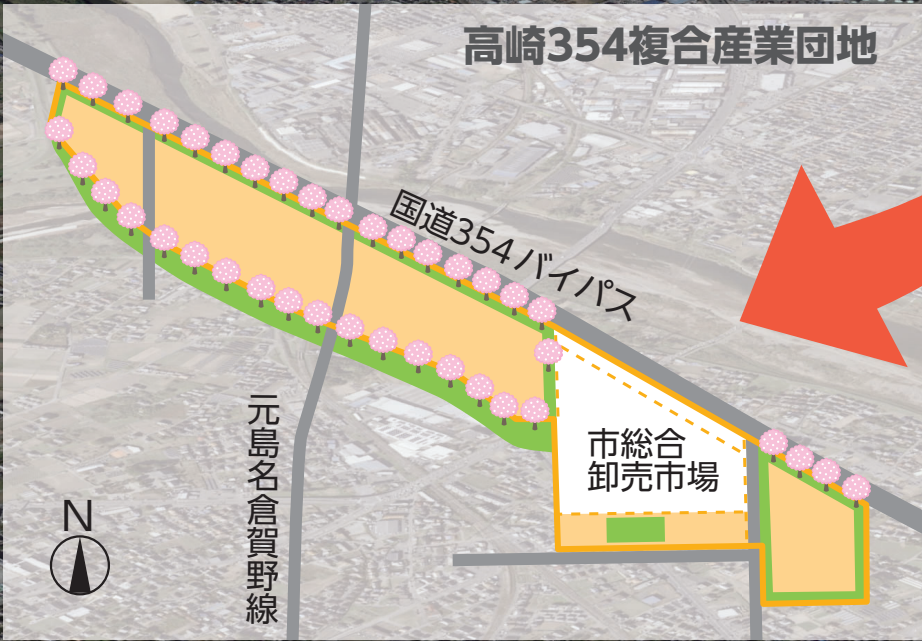
高崎駅東口～高崎玉村スマートIC間の 国道354バイパス沿線で産業団地を開発中



上越新幹線
北陸新幹線
国道354バイパス

Google Earth
Landsat / Copernicus, Data SIO, NOAA

高崎市役所
JR高崎駅



本市は、新幹線や高速道路といった交通インフラの拠点性を有し、商都高崎として発展してきました。JR高崎駅と高崎玉村スマートIC^{インターチェンジ}を直線的に結ぶ国道354バイパスの開通に伴い、沿線エリアは、雇用を生み出す産業の集積や人や物が集まる施設の進出など、本市の経済をけん引する新たな玄関口としてさらなる発展を遂げようとしています。

今回号では、国道354バイパス沿線での産業団地の開発の概要についてお知らせします。

問い合わせは、高崎工業団地造成組合（☎027・321・1259）へ。

高速道路のICと、複数の新幹線が乗り入れる高崎駅を結ぶ国道354バイパス。市は、同バイパス沿線を高崎の産業発展の新たな基幹軸と捉え開発しています。交通の利便性を生かし、「ヒト・モノを呼び込む仕掛け」を創ることで、経済の活性化

と高崎の玄関口としてのさらなる発展につなげます。

高崎スマートIC産業団地
雇用の促進に加え、市内外から人を呼び込むエリアとして整備しています。企業の他、直売所や飲食スペースを併せ持つ集客力のある施設を誘致。一部の区画ではすでに、集客施設を併設する大型の菓子製造業の進出が決定しています。

同エリアに進出を希望する企業を募集しています
高崎工業団地造成組合は、高崎の農畜産物を市内外に広くアピールできる施設や、交通網を生かした海産物の直売所など、集客力のある施設を運営する企業を募集しています。詳しくは、市ホームページで確認してください。

高崎354複合産業団地
企業の誘致に加え、周辺環境に配慮した整備を行っています。物流・倉庫業を中心に多くの企業が進出予定。周辺には緑地帯を整備し、トイレやベンチを設置します。桜などの植樹も行い、市民の憩いの場となるような環境を目指します。